TDX-40012=R1

販売元

滝川株式会社

本　社
〒111-8511　東京都台東区元浅草3-2-1　　TEL：03-3845-2111　FAX：03-3845-0123

大阪営業所
〒550-0004　大阪府大阪市西区靭本町2-3-2　　TEL：06-6446-1155　FAX：06-6446-1222

名古屋営業所
〒453-0015　愛知県名古屋市中村区椿町18-22ロータスビル6Ｆ　　TEL：052-451-4111　FAX：052-451-4112

札幌営業所
〒064-0809　北海道札幌市中央区南9条西2-2-22　　TEL：011-531-2121　FAX：011-531-6789

品質保証部
〒111-8511　東京都台東区三筋2-24-8エステ会館1F　　TEL：03-3863-2791　FAX：03-3863-2792
フリーダイヤル：0120-919-662　　Eメール：hinsho@takigawa.co.jp

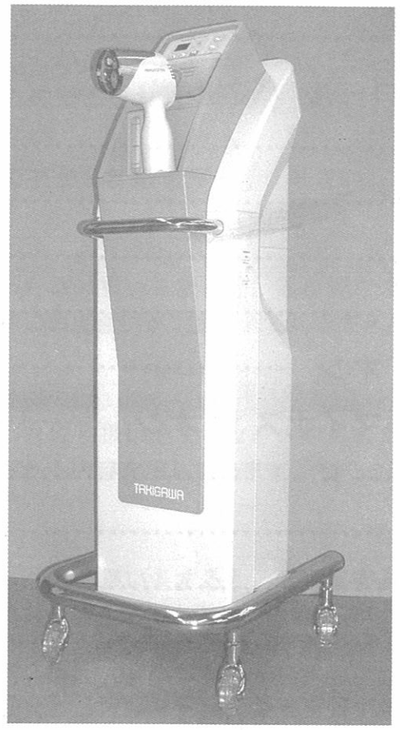
製造元
株式会社ディード

業務用

Atomica（アトミカ） SUPER（スーパー）

ＴＧ-３６１０

取扱説明書



このたびは、Atomica（アトミカ） SUPER（スーパー）をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
正しくお使いいただくために必ずご使用前には、この取扱説明書をよくご覧の上ご使用ください。また、お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。
この製品は安全上の取り扱い説明を受けた方のみご使用してください。

滝川株式会社

目　次

安全上のご注意〈表示の説明〉 …… P1
安全上のご注意〈使用前・使用中・使用後〉 …… P2
付属品のご確認 …… P5
各部の名称〈ハンド ピース〉 …… P5
各部の名称〈本体〉 …… P6
各部の名称〈コントロール パネル〉 …… P8
特　長 …… P9
ご使用前の準備 …… P10
使用方法 …… P11
・（１）スチーム …… P12
・（２）マイナス イオン …… P13
・（３）スチーム ＋マイナス イオン …… P14
・（４）タイマー モード …… P14
ブザーの設定方法 …… P16
自己診断モニター …… P17
ご使用の後に …… P19
日常点検・お手入れ …… P20
故障かな？と思ったら …… P21
保　管 …… P22
アフターサービス・メンテナンス・保証 …… P23
定格・仕様 …… P24
外形図 …… P25

安全上のご注意 ＜表示の説明＞

※ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危険を未然に防止するためのものです。
※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをした場合に想定される内容を「危険」「警告」「注意」の３つの区分にしています。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために、本文中に色々な図記号や絵表示を示しています。
その表示と意味は、次のようになっています。

●表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
●お読みになった後は、この製品をお使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
●全て安全に関する内容ですから、必ずお守りください。

⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じる切迫の度合いが想定される内容を示しています。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、或いは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
図記号の例 ⚠	△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを知らせるもので、図の中に具体的な注意内容が記載されています。（左図は、特定しない一般的な危険・警告・注意の通告に使用）
図記号の例 ⊘	○記号は、禁止の行為であることを知らせるもので、図の中や下部等に具体的な注意内容が記載されています。（左図は、特定しない一般的な禁止の通告に使用）
図記号の例 ❗	●記号は、行為を強制したり指示する内容を知らせるものです。図の中に具体的な強制や指示の内容が記載されています。（左図は、特定しない一般的な強制や指示に使用）

安全上のご注意

1. 使用前の安全上のご注意

⚠ 危　険	
	引火性ガスの充満している所では使用しない。 火災・ヤケドの恐れがあります。

⚠ 警　告	
	本体を修理・分解・改造しない。 火災・ヤケド・事故・感電・故障の恐れがあります。
	本来の目的や用途以外には使用しない。 ヤケド・事故・故障の恐れがあります。
	子供に操作させない。 ヤケド・事故の恐れがあります。
	ＡＣ100Ｖ以外の電源では使用しない。 火災・感電・故障の恐れがあります。
	傾斜・振動・衝撃がある場所には設置しない。 転倒の恐れがあります。
	本体に異物を入れない。 火災・故障の恐れがあります。
	本体や電源コードに亀裂などの損傷が生じているときは使用せず、必ず修理を依頼する。 火災・感電・事故・ケガの恐れがあります。
	高い所から落とすなどの強い衝撃を加えない。 事故・故障の恐れがあります。
	タコ足配線をしない。 火災の恐れがあります。
	他の機器等と併用しない。 ケガ・故障の恐れがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 火災・感電の恐れがあります。

	次のような人及び部位には使用しない。 ・危険な不整脈の人 ・通院中の人 ・病中・病後の人 ・急性疾患の人 ・結核性疾患の人 ・貧血症の人 ・悪性腫瘍の人 ・月経時の人 ・妊娠中の人 ・知覚障害の人 ・皮膚病の人 ・強度の炎症の人 ・高血圧症の人 ・伝染性疾患の人 ・心臓疾患（心筋梗塞・狭心症）の人 ・38度以上の有熱性疾患の人 ・温度感覚の鈍っている人 ・アトピー性皮膚炎の人 ・アレルギー体質で特に肌が敏感な人 ・病的なシミのある人 ・薬品や化粧品で皮膚炎をおこしている人 ・過度の日焼けで炎症をおこしている人 ・出血の伴う外傷の部位 ・カユミやホテリのある部位 ・出血性素因がある部位 ・熱性疾病のある部位（裂傷・スリ傷・刺し傷） ・体内に金属・プラスチック・シリコンなどを埋めてある部位 ・動脈怒張・萎縮性疾患をおこしている皮膚面 ・頭部の毛髪以外の部位 事故の恐れがあります。
	ホコリの多い所で使用しない。 火災・故障の恐れがあります。
	電源コードは赤色のマーク以上に引き出さない。 電源コードを引っ張って本体を移動しない。 火災・感電・故障・転倒の恐れがあります。
	ハンド　ピースを床に落としたり、ハンド　ピースを持って本体を移動しない。ハンド　ピースがロックしたら、それ以上引っ張らない。 火災・感電・故障・転倒の恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 警　告	
	施術前に正常に動作することを確認する。 異常を発見した場合は、点検・修理を依頼する。 事故・故障の恐れがあります。
	ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用する。

⚠ 注　意	
	本体の表裏には、刃物などの鋭利なものでキズをつけない。 火災・感電の恐れがあります。
	健康の特にすぐれない人、飲酒をしている人、疲労の激しい人には使用しない。 事故の恐れがあります。
	周辺には可燃物（雑誌・スプレー等）を置かない。 爆発・火災の恐れがあります。
	日本国外では使用しない。 事故・故障の恐れがあります。
	本体を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電・事故の恐れがあります。

スチーム機能

	寒い時期に（夜間に室温が0℃以下）ご使用の場合、スチーム発生装置を焼損する恐れがありますので、必ず下記の確認をしてください。 給水口に専用水を入れ、パワー スイッチをＯＮにしてください。 約30秒経過したらパワー スイッチをＯＦＦにして、排水作業を行ってください。 排水された場合は通常通りご使用ください。 排水れない場合はスチーム発生装置内部の残留水が凍結していますので、電源プラグをコンセントから抜き、室温が充分に上がり、排水されることを確認してからご使用ください 。
	お年寄り、お子様に使用する場合には、使 用状態に充分注意する。 事故の恐れがあります。

2. 使用中の安全上のご注意

⚠ 警　告	
	浴室などの湿気の多い場所で使用しない。 感電・事故の恐れがあります。
	濡れた手で本体の取り扱いや電源コードや電源プラグの着脱をしない。 感電の恐れがあります。
	水をかけたり、水につけたりしない。 火災・感電・故障の恐れがあります。
	電源コードの取り扱いに注意する。 ・傷つけない。 ・加工しない。 ・無理に曲げない。 ・ねじらない。 ・引っ張らない。 ・加熱しない。 ・重いものを乗せない。 火災・感電の恐れがあります。
	直射日光が当たる所やストーブなどの発熱器具の近くで使用しない。 故障の恐れがあります。
	停電したときは、直ちにパワースイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。 復帰したとき、事故の恐れがあります。
	電源コードの着脱は、電源プラグ部分を持って確実に行う。電源コード部分を持って引っ張ると電源コードの被覆が剥がれてショート感電・火災の恐れがあります。
	本体に異音や異常が発生したら、直ちに使用を中止し、必ず修理を依頼する。 火災・ヤケドの恐れがあります。
	タイマー表示にメッセージが表示された場合、必ず取扱説明書（［自己診断モニター］P17）に従う。 ヤケドの恐れがあります。

安全上のご注意

スチーム機能

	髪からの距離は40ｃｍ以上で施術する。 使用中、スチーム　ノズルから湯滴が飛ぶ可能性があり、ヤケドの恐れがあります。
	スチーム ノズル近くには触れない。 ヤケドの恐れがあります。
	排水した水は、絶対に使用しない。 ヤケド・故障の原因になります。

マイナス イオン機能

	マイナス イオン ノズル近くに触れない。 感電の恐れがあります。

⚠ 注　意	
	他の本体の部品を流用しない。 ヤケド・故障の恐れがあります。
	本体の上には物を置かない。 火災・故障の恐れがあります。
	本体に、外部より温風などをあてたり、熱源のそばで使用したりしない。 ヤケド・故障の恐れがあります。
	スチーム噴射中は本体を移動させない。 ヤケド・故障の恐れがあります。
	本体の故障や転倒により漏れ出した熱湯には触れない。 ヤケドの恐れがあります。
	目的以外の用途には使用しない。 火災・事故・故障の恐れがあります。
	痛感や体調不良を訴えられたときは、直ちに使用を中止する。 事故の恐れがあります。
	雷が鳴り出したら、直ちに使用を中止する。 異常出力が発生する恐れがあります。
	本体に付着した薬液などは、柔らかい布でふき取る。 感電・事故の恐れがあります。
	電源コード類は足元の邪魔にならないようにする。 断線の恐れがあります。

スチーム機能

	使用する薬品や化粧品の注意書をよく読んで、加温してはいけないものは使用しない。 事故・故障の恐れがあります。
	絶対に専用水以外は使用しない。 ヤケド・故障の恐れがあります。

3. 使用後の安全上のご注意

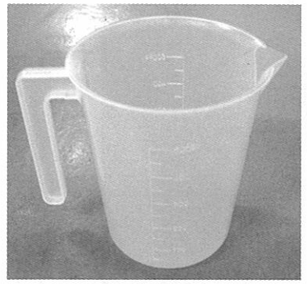
⚠ 警　告	
	次のような場所には保存しない。 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所、油煙・湯気があたるような場所、水のかかる恐れのある場所、高温になる場所、傾斜・振動・衝撃のある場所（不安定な場所） 火災・故障・変形・事故の恐れがあります。
	長期間、使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 火災の恐れがあります。
	日常点検・お手入れをするときは、必ずパワー　スイッチをOFF、電源プラグをコンセントから抜いて行う。 漏電事故・感電の恐れがあります。
	電源プラグとコンセントの定期点検を行う。
	１日の施術終了時に必ず排水を行う。 水質が劣化したり、細菌が繁殖したり、凍結する恐れがあります。
	本体を移動する時は必ず排水する。 故障の恐れがあります。
	使用後は、スチーム発生装置内部の水が高温になっているため取り扱いに注意する。 ヤケドの恐れがあります。

⚠ 注　意	
	手入れの際は、シンナー・ベンジン・灯油などの溶剤や薬品類・磨き粉を使用しない。 事故・故障の恐れがあります。
	使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 火災の恐れがあります。
	取扱説明書は必ず保管する。

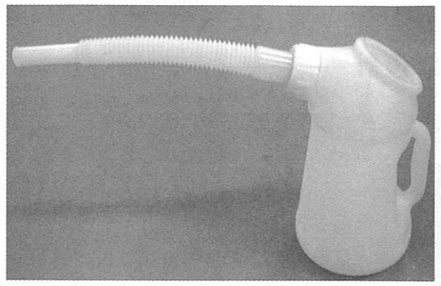
付属品のご確認

〈付属品〉

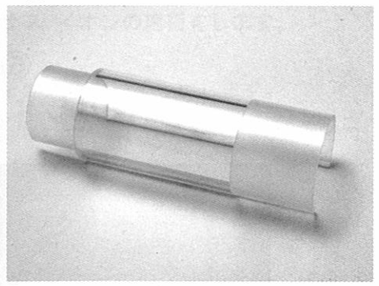
① 排水用ビーカー



② 給水ジョッキ



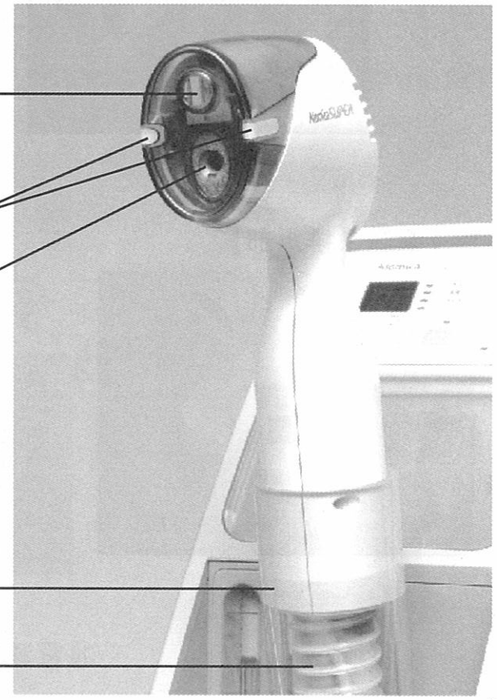
③ ハンド ピース ホルダー



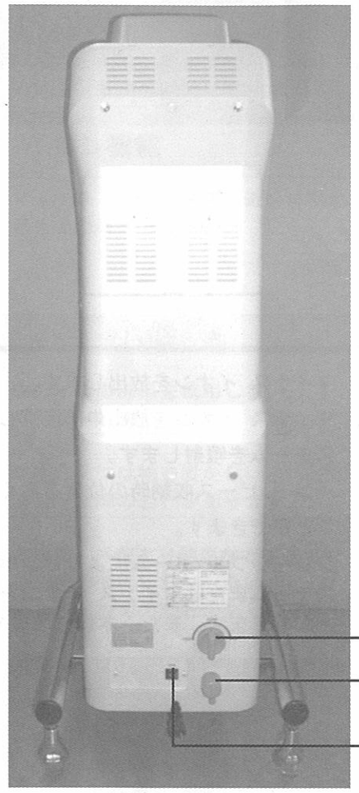
④ 取扱説明書（本書）
⑤ 保証書

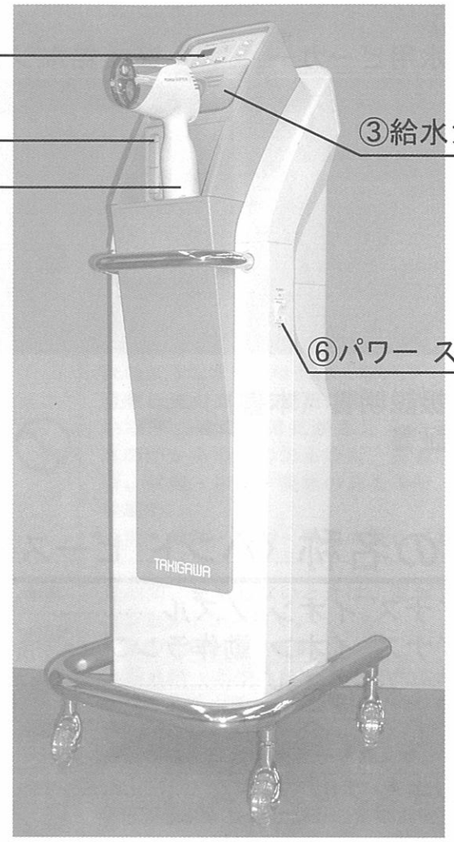
各部の名称〈ハンド ピース〉

① マイナス イオン ノズル …… マイナス イオンを放出します。
② マイナス イオン 動作ランプ（２ヶ所） …… マイナス イオンを放出中に点灯します。
③ スチーム ノズル …… スチームを噴射します。
④ ハンド ピース ホルダー …… ハンド ピース収納時の位置を高くすることができます。
⑤ フレキシブル アーム …… フレキシブル アームによりピンポイントにスチームまたはマイナス イオンを照射することができます。また、本体に収納できます。



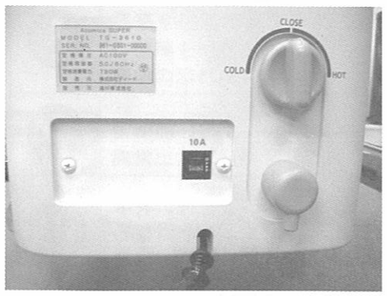
各部の名称〈本体〉

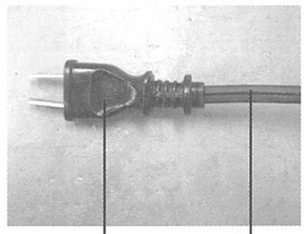


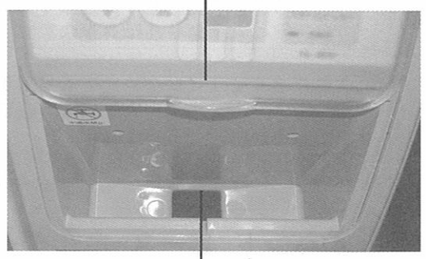


①コントロール パネル
⑤水位計
②ハンド ピース
③給水カバー
⑥パワー スイッチ
⑦排水コック
⑧排水口
⑨サーキット プロテクター

【電源・排水部】







③給水カバー
⑩電源プラグ
⑪電源コード
④給水口

① コントロール パネル …… 本体の操作を行います。

② ハンド ピース …… 手に持って、スチームやマイナス イオンの施術をします。

③ 給水カバー …… 給水口をカバーし、ほこりなどが入らないようにします。
給水口の底部にはゴミなどの侵入を防ぐ給水フィルターがあります。

④ 給水口 …… 専用水を入れます。専用水は、[アクア キューブ （20ℓ）アクア キューブ ミニ（5ℓ）]です。

⑤ 水位計 …… 専用水の量を表示します。

⑥ パワー スイッチ …… 本体の電源スイッチです。
‘1’側の場合ON、‘O’側の場合OFFです。

⑦ 排水コック …… 排水の切り替えを行います。
CLOSEで排水を停止します。HOTでスチーム発生装置内部の水（湯）を排水します。
COLDで内部の給水タンクの水を排水します。

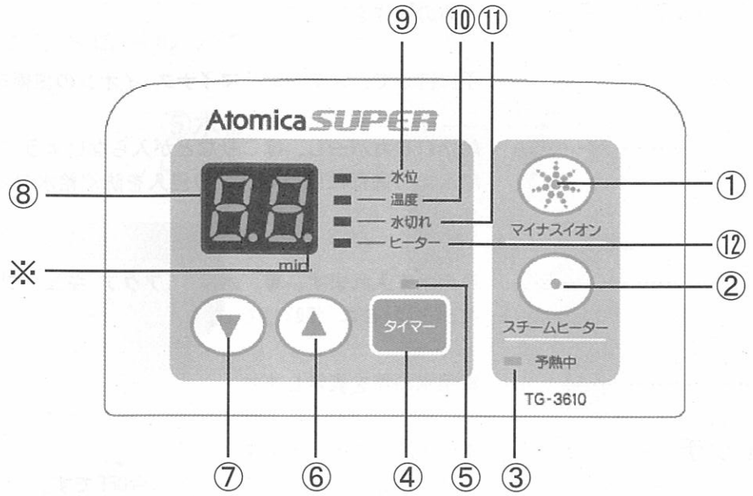
⑧ 排水口 …… 排水をします。

⑨ サーキット プロテクター …… 過電流を検知し、電源を自動的にOFFにします。

⑩ 電源プラグ …… コンセントに接続します。

⑪ 電源コード …… コードリールの採用により、本体に収納できます。

各部の名称〈コントロール パネル〉



① マイナス イオン キー …… ONの時、マイナス イオンを放出します。

マイナス イオン ランプ …… マイナス イオン放出中に点灯します。

② スチーム ヒーター キー …… ONの時、スチームを噴射します。
予熱完了前の場合、予熱完了後、スチームを噴射します。

スチーム ヒーター ランプ …… スチーム ヒーター キーがONの時、点灯します。

③ 予熱中 ランプ …… スチームの予熱中に点滅します。予熱完了時、点灯します。

④ タイマー キー …… タイマーの操作をします。

⑤ タイマー ランプ …… タイマー動作中に点灯または、点滅します。

⑥ アップ キー …… タイマーの時間を設定します。

⑦ ダウン キー …… タイマーの時間を設定します。

⑧ タイマー表示 …… タイマーの時間を表示します。タイマー動作中は、※ドット（点）が点滅します。また、自己診断モニターの表示も行います。

⑨ 水位 ランプ …… スチーム発生装置の異常な湯沸きを検知した場合、点灯します。

⑩ 温度 ランプ …… ヒーターやハンド ピースが故障した場合、点灯します。

⑪ 水切れ ランプ …… 給水タンク内の水切れを検知した場合、点灯します。

⑫ ヒーター ランプ …… ヒーターを長時間使用した場合、点灯します。

特　長

1）コントロール パネル	スイッチの位置がわかり易く、クリック感が得られ、防水性にも優れた使いやすいパネルを採用しました。
2）選べる３モード	コントロール　パネルのスイッチ操作により、スチーム、マイナス イオン、スチーム＋マイナス イオンの３モードが選択できます。
3）マイナス イオン	100万個／cm^3以上のマイナス イオンを放出させます。
4）給水方式	給水ポンプを採用することにより、安定した給水が得られます。
5）給水位置	楽な姿勢で給水できる位置に給水口を設けました。また、注入した専用水の量を確認できるように水位計を設けました。
6）フレキシブル アーム	フレキシブル　アームを採用することにより、ピンポイントにスチーム又はマイナス　イオンを照射することができます。また、本体内部に収納する機能を搭載しました。
7）ハンド ピース	360度回転することにより、自由な施術が行えます。
8）自己診断チェック	電源投入時、ＣＰＵ自身で機能チェックを行います。
9）自己診断モニター	安全にご使用していただくための安全装置として、自己診断モニターを搭載しました。
10）バブル センサー	スチーム発生装置の異常な湯沸きを検知する、バブル　センサーを搭載しました。
11）サーキット プロテクター	過電流を検知し、電源を自動的にOFFにする、サーキット　プロテクターを採用しました。
12）コード リール	収納が楽になり、邪魔にならないコード　リールを採用しました。

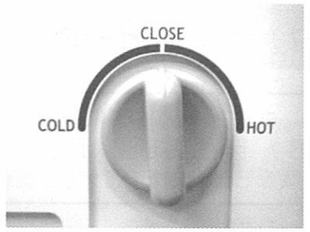
ご使用前の準備

ここでは、設置方法と接続について説明します。

⚠ 危　険	
⃠	引火性ガスの充満している所では使用しない。 火災・ヤケドの恐れがあります。
⚠ 警　告	
⃠	AC100V以外の電源では使用しない。 火災・感電・故障の恐れがあります。
⃠	傾斜・振動・衝撃がある場所には設置しない。 転倒の恐れがあります。
⃠	ホコリの多い所では使用しない。 火災・故障の恐れがあります。

①本体を水平で安定した振動のない場所に設置します。

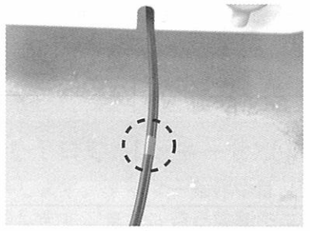
②排水コックがCLOSE(クローズ)であることを確認してください。
HOT(ホット)またはCOLD(コールド)になっているときは、CLOSE(クローズ)にしてください。【写真1】



【写真1】

③パワー スイッチがOFF(オフ)であることを確認してください。
ON(オン)になっているときは、OFF(オフ)にしてください。

④電源プラグを持ち、電源コードを赤色のマークが出ない範囲で引き出してください。【写真2】


【写真2】

⑤電源プラグをコンセントに接続します。

使用方法

ここでは、スチーム、マイナス イオン、スチーム＋マイナス イオンの使用方法について説明します。

⚠ 警　告	
❗	顔からの距離は40cm以上で施術する。 ヤケドの恐れがあります。
♨	スチーム ノズル近くに触れない。 ヤケドの恐れがあります。
⚡	マイナス イオン ノズル近くに触れない 。 感電の恐れがあります。
⚠ 注　意	
⃠	絶対に専用水以外は使用しない。 ヤケド･故障の恐れがあります。
❗	寒い時期に（夜間に室温が0℃以下）ご使用の場合、スチーム発生装置を焼損する恐れがありますので、必ず下記の確認をしてください。 給水口に専用水を入れパワー スイッチを、ON(オン)にしてください。 約30秒経過したらパワー スイッチをOFF(オフ)にして、排水作業を行ってください。 排水された場合は通常通りご使用ください。排水されない場合はスチーム発生装置内部の残留水が凍結していますので、電源プラグをコンセントから抜き、室温が充分に上がり、排水されることを確認してからご使用ください。

■専用水［アクア キューブ（20ℓ）・アクア キューブ ミニ（5ℓ）］

専用水は、電気伝導度が1μS／cm以下の精製水です。
水道水・井戸水・ミネラルウォーター・一度使用した排水・浄水器を通した水などは絶対に使用しないでください。また、専用水に美容用等の薬液や洗剤などの薬剤を絶対に入れないでください。
これらの水には塩素や鉱物などの不純物が含まれております。これらの不純物によって内部のスチーム　発生装置に異常な泡が発生し、スチーム　ノズルから熱湯が飛び出す恐れがあり、非常に危険です。また、不純物（スケール）が内部の機器に付着し、ヒーターなどが故障するだけでなく、異臭が発生する恐れがあります。これらの不純物が装置内部にこびり付いた場合、内部の部品を交換する必要があります。
専用水以外の水を使用した場合、不純物が髪に潤いを与えずに、逆にダメージを与える恐れもあります。

■マイナス イオン

マイナス イオンとは、電子（マイナス）を余分に持った分子・原子です。マイナス イオンは滝や海辺のしぶきの中に多く含まれています。
マイナス　イオン放出と共に、わずかな臭い（微量に発生するオゾンによる臭い）も発生しますがこれは異常ではなく人体にも影響はありません。

使用方法（1）スチーム

ここでは、キューティクルを保護し、毛髪内部の水分を調整するスチームの施術について説明します。

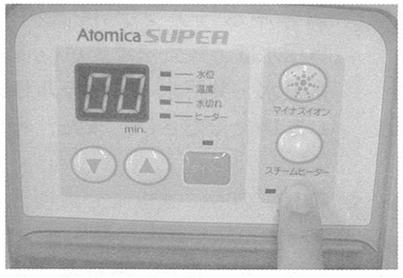
●スチーム モード

【写真３】

①給水ジョッキに専用水を入れ、給水カバーを持ち上げて、給水口に注入してください。【写真３】
専用水は水位計の表示が満水を示す‘F’以下になるように注水してください。
給水が終わりましたら**必ず給水カバーを下げてください。**
＊専用水は、［アクア キューブ（20ℓ）アクア キューブ ミニ（5ℓ）］です。
＊専用水以外の水（水道水や井戸水、地下水、ミネラルウォーター、浄水器を通した水道水）などは使用しないでください。
＊水位計の目盛りは目安です。正確な水量を表すものではありません。
＊給水口以外に専用水をかけないでください。
＊初めに専用水を少量注入しても表示器はすぐに動きませんが、故障ではありません。

【写真４】

②パワー スイッチをON（オン）にします。
＊自動的に給水が開始され、予熱中 ランプが点滅します。
＊予熱完了まで数分かかります。（使用環境により変わります。）
③予熱が完了すると、予熱中 ランプが点灯します。
④ハンド ピースをロックがかかるまで持ち上げます。【写真４】
＊ブザー設定がON（オン）の時のみピピッと音がします。
＊ハンド ピースのスチーム ノズルは髪から40cm以上離してください。



【写真５】

⑤スチーム ヒーター キーを押してON（オン）にします。【写真５】
＊スチーム ノズルからスチームが噴射します。スチーム ヒーター ランプが点灯します。
＊予熱完了前にスチーム ヒーター キーを押すと、予熱完了後にスチームを噴射します。

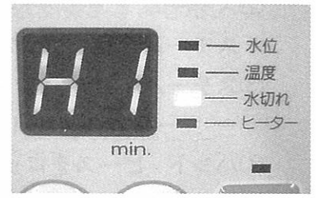
スチームが出ている状態で、本体やハンド ピースを強く引っ張ったり、ゆすったり、蹴ったり等の外的ショックを与えないでください。

⑥スチームを停止するには、もう一度スチーム ヒーター キーを押してOFF（オフ）にします。
また、タイマーがカウント ダウンして‘00’になった場合にもスチームが停止します。
スチーム ヒーター ランプが消灯します。
⑦ハンド ピースをロックが外れるまで持ち上げます。
＊ブザー設定がON（オン）の時のみピピッと音がします。フレキシブル アームを本体に収納してください。

◎ハンド ピース ホルダーのご使用について

付属品のハンド ピース ホルダーをフレキシブル アームに取り付けることにより、ハンド ピース収納時の位置を高くすることができます。

◎専用水がなくなったときの操作



【写真６】

①給水タンク内の水切れを検知した場合、タイマー表示に‘H1’が表示され、水切れ ランプが点灯します。ブザーが７回なります。【写真６】
タイマー動作中はタイマー動作を停止し、タイマー ランプが消灯します。
②給水ジョッキに専用水を入れて給水口に注入してください。
③スチーム ヒーター キーを押してON（オン）にします。

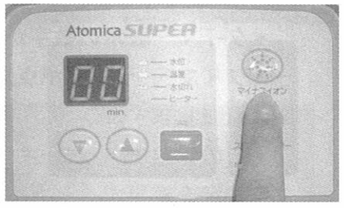
◎予熱タイマー動作

予熱動作を30分以上行った場合に、節電のために予熱動作を停止します。
予熱中 ランプが消灯した場合でも、スチーム ヒーター キーを押せば、予熱完了後スチームを噴射します。
※ハンド ピースを収納した状態でもスチームを噴射させることができますが、ハンド ピースを持ち上げた瞬間から数秒間、スチームが噴射されないことがあります。これは、故障ではありませんので、引き続きご使用ください。
※ハンド ピースを収納する際は一度、最後まで持ち上げてから収納してください。

使用方法（2）マイナス イオン

ここでは、毛髪のイオンバランスを整えるマイナス イオン施術について説明します。

●マイナス イオン モード



【写真７】

①ハンド ピースをロックがかかるまで持ち上げます。
＊ハンド ピースのマイナス イオン ノズルを髪にあまり近づけないでください。
②マイナス イオン キーを押してON（オン）にします。【写真７】
マイナス イオン ノズルからマイナス イオンが放出します。
マイナス イオン 動作ランプとマイナス イオン ランプが点灯します。
＊マイナス イオン自体は見えません。
③マイナス イオンを停止するには、もう一度マイナス イオン キーを押してOFF（オフ）にします。
また、タイマーがカウント ダウンして‘00’になった場合にもマイナス イオンが停止します。
マイナス イオン 動作ランプとマイナス イオン ランプが消灯します。
④ハンド ピースをロックが外れるまで持ち上げます。
フレキシブル アームを本体に収納してください。

使用方法（3）スチーム ＋マイナス イオン

ここでは、総合的に毛髪をケアするスチーム＋マイナス イオン施術について説明します。

●スチーム ＋マイナス イオン モード

①ハンド ピースをロックがかかるまで持ち上げます。
　＊ハンド ピースのスチーム ノズルは髪から40cm以上離してください。
②スチーム ヒーター キーとマイナス イオン キーの両方をON（オン）にします。
　スチーム及びマイナス イオンが発生します。
③スチーム＋マイナス イオン モードを終了させるときは、マイナス イオン キーとスチーム ヒーター キーの両方をOFF（オフ）にします。
④ハンド ピースをロックが外れるまで持ち上げます。フレキシブル アームを本体に収納してください。

■スチーム ノズル

スチーム ノズルにはスチームを安定して出すための金属加工を施しています。
この金属加工のため、錆のような色になっておりますが、これは錆ではありません。

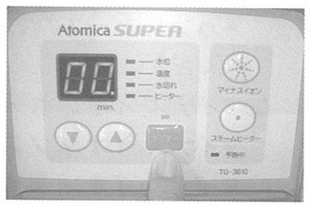
使用方法（4）タイマー モード

タイマーにはカウント アップ モードとカウント ダウン モードの2つの動作モードがあります。
カウント アップ モードは、スチームやマイナス イオンを照射した時間を計る独立した時計として使用し、カウント ダウン モードは、予め設定した時間でスチームやマイナス イオンの照射を停止します。

●カウント アップ モード

①アップ キーまたはダウン キーを押してタイマー表示を‘00’にします。
　＊パワー スイッチをON（オン）にした状態でのタイマー表示は‘00’になります。‘00’の時に、ダウン キーを押すと‘99’に、‘99’の時にアップ キーを押すと‘00’になります。
　アップ キーとダウン キーは押し続けるとタイマー表示の数字が連続して変わります。

②タイマー キーを押してON（オン）にします。【写真８】
　＊タイマー表示の数字が増えるカウント アップ動作を開始します。
　＊タイマー ランプが点灯します。また、タイマー表示のドット（点）が点滅します。
　＊この状態でアップ キーまたはダウン キーを押し、タイマー表示の数字を変更するとカウントダウン モードになりカウント アップ動作が停止しタイマー ランプとタイマー表示のドット（点）が消灯します。



【写真８】

③もう一度タイマー キーを押すと、カウント アップ動作を一時停止します。
　＊タイマー ランプとタイマー表示のドット（点）が消灯します。
　＊この状態でアップ キーまたはダウン キーを押し、タイマー表示の数字を変更するとカウントダウン モードになります。

④再度タイマー キーを押すと、カウント アップ動作を継続して再開します。
　以降、③からの動作を繰り返します。
　＊タイマー表示が‘99’になった場合、タイマー動作は停止します。
　＊カウント アップ モードのタイマーはスチームやマイナス イオンの動作とは関係ありません。

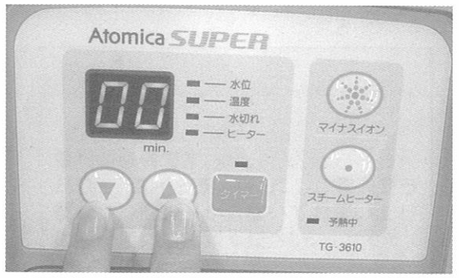
●カウント ダウン モード

①アップ キーまたはダウン キーを押してタイマー表示を‘00’以外の数字にします。
　＊タイマーの設定値の上限は‘99’です。
②タイマー キーを押してON（オン）にします。
　＊タイマー表示の数字が減るカウント ダウン動作を開始します。
　＊タイマー ランプが点滅します。また、タイマー表示のドット（点）も点滅します。
③カウント ダウン動作の途中でタイマー キーを押した場合カウント ダウン動作を一時停止します。
　＊もう一度タイマー キーを押した場合、カウント ダウン動作を継続して再開します。
④タイマー表示の数字が‘00’になった場合、カウント ダウン動作を停止します。
　＊スチームやマイナス イオンが噴射している場合、噴射を停止します。
　＊タイマー ランプとタイマー表示のドット（点）が消灯します。
⑤もう一度タイマー キーを押すと、タイマー表示に①で設定した数字を表示します。
　さらにもう一度タイマー キーを押すと、②からの動作を繰り返します。
　＊設定する時間を変更する場合は、アップ キーまたはダウン キーを押して数字を変更してからタイマー キーを押します。
　＊カウント アップ モードに変更する場合は、アップ キーまたはダウン キーを押してタイマー表示を‘00’の数字にしてからタイマー キーを押します。

●タイマー クリア機能

アップ キーとダウン キーを同時に約1秒間押しつづけるとタイマーが‘00’にクリアされます。
【写真 ９】

＊タイマーのカウント アップまたは、カウント ダウンが停止し、その後、カウント アップ モードになります。



【写真 ９】

ブザーの設定方法

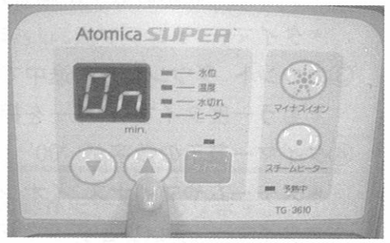
ここでは、ブザーON／OFFの設定方法について説明します。

●ブザー設定

①次の状態の時ブザー音を出すON状態と、出さないOFF状態を設定することができます。
（通常のキー入力、パワー スイッチON、ハンド ピースのロック・解除）
＊製品出荷時の設定はブザーONにしてあります。
＊一度設定した内容は、パワー スイッチをOFFにしても記憶されます。
②次の状態のブザー音について、OFF設定はありません。
（カウントダウン モードの終了、水切れ、各種異常状態）

●ブザーON設定

①パワー スイッチをOFFにします。
②マイナス イオン キーを押しながらパワー スイッチをONにします。
タイマー表示に‘On’または‘OF’が表示されます。
③アップ キーを押します。
タイマー表示に‘On’が表示され、ブザーが1回鳴ります。
④パワー スイッチをOFFにします。 【写真１０】



【写真１０】

●ブザーOFF設定

①パワー スイッチをOFFにします。
②マイナス イオン キーを押しながらパワー スイッチをONします。
タイマー表示に‘On’または‘OF’が表示されます。
③ダウン キーを押します。
タイマー表示に‘OF’が表示されます。【写真１１】
④パワー スイッチをOFFにします。

【写真１１】

自己診断モニター

ここでは、自己診断モニターの使用方法について説明します。

⚠ 注　意	
❗	水位 ランプが点滅した場合、必ず取扱説明書に従ってください。 ヤケドの恐れがあります。
❗	温度 ランプが点滅した場合、必ず取扱説明書に従ってください。 事故・火災の恐れがあります。
⃠	本体の故障や転倒により漏れ出した熱湯には触れない。 ヤケドの恐れがあります。

●自己診断モニター

この本体にはお客様を安全に施術するための安全装置として、自己診断モニター機能を搭載しています。
自己診断モニターには、操作指示表示とエラー（故障）表示があります。
表示方法は、ランプの点灯又は、点滅とブザーにてお知らせします。
これらの表示がされた場合は、次の処置をしてください。

■操作指示表示

タイマー 表示	点灯ランプ	ブザー音	処　置
H1 （水切れ検知）	水切れ	7回	P21.「故障かな？と思ったら」をご覧ください。
H4 （傾斜センサー）		1回	一度パワー スイッチをOFFにし、本体を水平な場所に設置後パワー スイッチをONにしてください。
	ヒーター		ヒーターを長時間使用したので交換をお奨めします。（有償）

■エラー(故障)表示

タイマー 表示	点灯ランプ	ブザー音	処　置
E1 （ヒーター断線）	温　度	連　続	修理が必要です。 パワー スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。
E2 （ヒーター高温異常）	温　度	連　続	
E4 （ハンド ピース サーミスタ断線異常）	温　度	連　続	
E5 （ハンド ピース サーミスタ短絡異常）	温　度	連　続	
E3 （バブル センサー）	水　位	断　続	P21.「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

自己診断モニター

■水切れ検知（H1）

給水タンク内の水切れを検知した場合、タイマー表示に‘H1’が表示され、スチーム　ヒーター　ランプ及び予熱中ランプが消灯し、スチーム機能が停止します。
このような場合、給水ジョッキに専用水を入れて給水口に注入してください。
その後、スチーム ヒーター キーを押すと、通常動作に戻ります。
また、スチームが出ている状態で、本体やハンド ピースを強く引っ張ったり、ゆすったり、蹴ったり等の外的ショックが加わった場合、本体内部のスチーム発生装置の水が揺れ、水切れと判断してタイマー表示ランプに’H1’が表示されることがありますが、故障ではありません。
その後、スチーム ヒーター キーを押すと、通常動作に戻ります。

■傾斜センサー（H4）

保護機能として傾斜センサーが内蔵されています。傾斜・衝撃・転倒した場合に、安全のために全ての機能を停止し、一切のキーを受け付けないようにします。
このような場合、パワー スイッチを一旦OFF(オフ)にし、本体を水平な場所に設置後、パワー スイッチをON(オン)にしてください。

■ヒーター交換

ヒーターを長時間使用しましたので、交換をお奨めします。お買い上げの販売店にご連絡し、交換を依頼してください。長時間使用したヒーターは故障の原因になる恐れがあります。
なお、長時間使用したヒーター交換については有償になりますので、ご了承願います。

■ヒーター断線、ヒーター高温異常（E1、E2）

ヒーターが故障した場合、安全のためにスチーム機能を停止します。
このような場合パワー スイッチをOFF(オフ)にして、お買い上げの販売店にご連絡し修理を依頼してください。

■バブル センサー（E3）

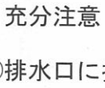
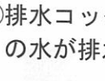
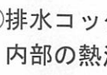
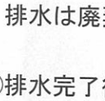
スチーム発生装置の異常な湯沸きを検知した場合、タイマー表示に‘E3’と表示され、水位 ランプが点灯し、スチームが停止します。このような場合にはパワー スイッチをOFF(オフ)にし、一度排水してからご使用ください。
また、スチームが出ている状態で、本体やハンド ピースを強く引っ張ったり、ゆすったり、蹴ったり等の外的ショックが加わった場合にもバブル センサーは反応します。
上記の復元処置を行っても、異常がある場合パワー スイッチをOFF(オフ)にして、お買い上げの販売店にご連絡し修理を依頼してください。

■ハンド ピース サーミスタ断線異常・短絡異常（E4、E5）

ハンド ピースが故障した場合、安全のためにスチーム機能を停止します。
このような場合パワー スイッチをOFF(オフ)にして、お買い上げの販売店にご連絡し修理を依頼してください。

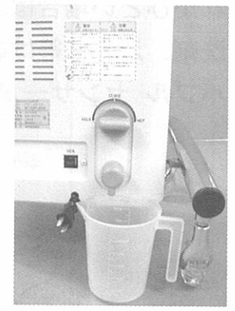
ご使用の後に

ここでは、施術後の排水作業と収納について説明します。

⚠ 警　告	
	電源コードの着脱は、電源プラグ部分を持って確実に行う。 電源コード部分を持って引っ張ると電源コード被覆が剥がれて ショート・感電・火災の恐れがあります。
	1日の施術終了時に必ず排水を行う 。 水質が劣化したり、細菌が繁殖したり、凍結する恐れがあります。
	排水した水は絶対に使用しない。 ヤケドの恐れがあります。
	使用後は、スチーム発生装置内部の水が高温になっているため、取り扱いに注意する。 ヤケドの恐れがあります。

■収納

ハンド ピースを本体に収納する際、一度最後まで持ち上げてから収納してください。



【写真 １２】

■排水作業を次の手順で行ってください。

①パワー スイッチをOFF(オフ)にしてください。

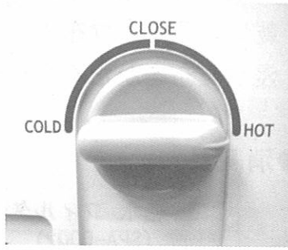
②電源プラグを持って、コンセントから抜いてください。

③電源プラグを持ち、電源コードを赤色のマークが出ない範囲 で少し引き出してください。本体内部に電源コードが収納されます。

④スチーム発生装置内部の水が高温になっていますので、充分注意してください。

⑤排水口に排水用ビーカーをセットしてください。【写真１２】

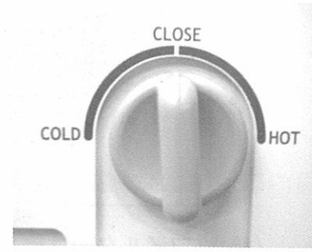
⑥排水コックをCOLD(コールド)方向に回してください。内部の給水タンクの水が排水されます。排水は廃棄してください。



【写真１３】

⑦排水コックをHOT(ホット)方向に回してください。スチーム発生装置内部の熱湯が排水されます。熱湯にご注意ください。
排水は廃棄してください。　【写真１３】

⑧排水完了後、必ずCLOSE(クローズ)方向に排水コックを戻してください。
【写真１４】



【写真 １４】

日常点検・お手入れ

ここでは、日常点検・お手入れの仕方について説明します。

⚠ 警　告	
	日常点検・お手入れをする場合は、必ずパワー　スイッチをOFF、電源プラグをコンセントから抜いて行う。 漏電事故・感電の恐れがあります。
	手入れの際は、シンナー・ベンジン・灯油などの溶剤や薬品類・磨き粉を使用しない。 事故・故障の恐れがあります。

●給水フィルター・ジョッキ フィルターの点検・お手入れ

給水 フィルター・ジョッキ フィルターは、取り出し後、流水で洗い流してください。

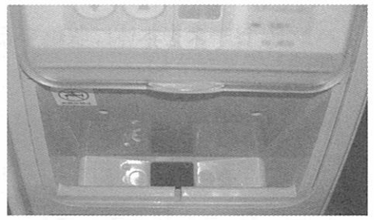
●給水口の点検・お手入れ

給水口内部に汚れが付着していないことを確認してください。【写真１５】

汚れがひどい場合は、水に浸した清潔な布をかたく絞って拭きとってください。

（洗剤、消毒液等は絶対に使用しないでください。

バブル センサーが動作したり、故障の恐れがあります。）



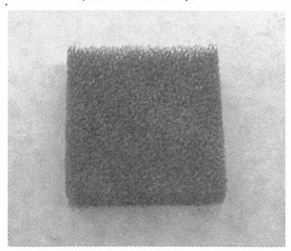
【写真１５】

●本体・付属品等のお手入れ

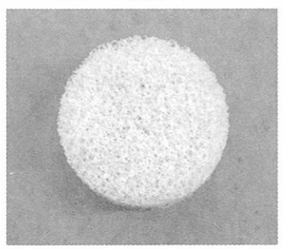
乾いた柔らかな布でよく拭いてください。取れにくい汚れは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をかたく絞って拭き取った後、乾いた布で水気をよく拭き取ってください。

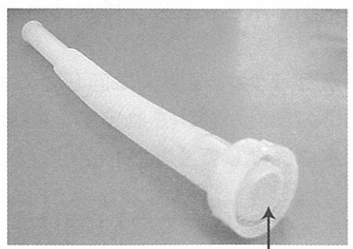
●消耗品

・給水 フィルター
（SPA-0002）



・ジョッキ フィルター
（SPA-0003）





（給水 フイルターは給水口底部にあります。）

ジョッキ フィルター

※使用条件にもよりますが、給水 フィルター・ジョッキ フィルターは、汚れたら交換してください。

故障かな？と思ったら

現　象	考えられる原因	処　置
電源が入らない。	壁の電源コンセントに電源プラグが完全に差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込んでください。
	壁の電源コンセントに電源（AC100V）がきていますか。	壁の電源コンセントに他の電気機器をつないで、電源がきているか確認してください。（ドライヤー等）
	サーキット プロテクターのボタン部分が持ち上がっていませんか。	ボタン部分をロックがかかるまで押し込んでください。
スチームが出ない。【タイマー表示［H１］】	本体に専用水が、入っていますか。	給水口から専用水を入れてください。
	スチームが出ている状態で、本体やハンド ピースを強く引っ張ったり、ゆすったり、蹴ったり等の外的ショックを与えませんでしたか。	本体を水平な安定した場所に置き外的ショックを与えないようにしてください。
スチームやマイナスイオンが出ない。【タイマー表示［H４］】	衝撃や転倒が考えられます。	本体を水平な安定した場所に置き、パワースイッチをONしてください。
スチームが出ない。【タイマー表示［E３］】	使用水の異常が考えられます。	排水を行った後給水口から専用水を入れてください。
	スチームが出ている状態で、本体やハンド ピースを強く引っ張ったり、ゆすったり、蹴ったり等の外的ショックを与えませんでしたか。	本体を水平な安定した場所に置き外的ショックを与えないようにしてください。
スチームが出ない。【タイマー表示［E１・E２・E４ E５］】	本体の故障が考えられます。	パワー スイッチをOFFし、コンセントから電源プラグを、抜いてください。

点検・処置後、尚異常がある。

ただちに使用を中止し、お買い上げ店に修理を依頼してください。火災・ヤケドの恐れがありますので、自分で分解・修理をしないでください。

保管(長時間・長期間使用しない場合)

ここでは、保管について説明します。

⚠ 警　告	
	電源コードの着脱は、電源プラグ部分を持って確実に行う。 電源コード部分を持って引っ張ると電源コードの被覆が剥がれてショート・感電・火災の恐れがあります。
	次のような場所には保管しない。 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所、油煙・湯気が当たるような場所、水のかかる恐れのある場所、高温になる場所、傾斜・振動・衝撃のある場所(不安定な場所) 火災・故障・変形・事故の恐れがあります。
⚠ 注　意	
	本体の清掃を行うときや、本体を移動しようとするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う。 感電・事故の恐れがあります。

■本体を長時間・長期間ご使用にならない場合、次の手順で本体及び付属品を保管してください。

①（「ご使用の後に」P19）に従い排水を行います。

②（「日常点検・お手入れ」P20）に従い点検・お手入れをします。

③ 本体のゴミやホコリをとります。

④ 乾拭きした後、水分が残らないように自然乾燥させます。

⑤ 取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

アフターサービス・メンテナンス・保証

●アフターサービス

①アフターサービスには万全を期しておりますので、ご使用中に異常が生じたときは、パワースイッチをOFF(オフ)し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店へ連絡してください。

②製品は、保証書記載内容により、１年間 無償保証いたしますので、保証期間内の修理の際は必ず保証書をサービス員にご提示ください。

③お買い上げ後、１年間を経過した故障については、有償とさせていただきます。

ご使用にあたりましては、この取扱説明書をよくご覧の上、ご使用ください。誤った使用法によって起こる施術中、または使用後における髪やお肌のトラブル、事故等は、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

※本仕様ならびに装備は、予告なく変更することがあります。

●メンテナンス

①取れにくい汚れは水でうすめた中性洗剤にひたした布をかたくしぼって拭きとり、そのあと乾いた布で水気を良く拭きとります。（ベンジンやシンナーなどの揮発油は使用しないでください。）

②長期にわたり使用しない場合、必ず排水（P22［保管］を参照）してください。

③長期にわたり使用せず、再使用する場合は、本体の各機能が正常に動作することを確認の上ご使用ください。

アフターサービスのご用命は右記へ	滝川株式会社　品質保証部 〒111-8511　東京都台東区三筋2-24-8エステ会館1F TEL. 03-3863-2791　　FAX. 03-3863-2792 フリーダイヤル：0120－919－662 Eメール　hinsho@takigawa.co.jp

●保証

①保証書はお買い上げの販売店でお渡しいたします。必ずお受け取りください。
万一故障した場合には、保証記載内容により保証期間中は無償保証いたしますので、内容をよくお読みになったうえで、大切に保管してください。保証書にお買い上げ日、販売店名などの所定事項の記入がないと無効になりますので、もし記入が無い場合はすぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。

②保証期間はお買い上げの日から１年間です。

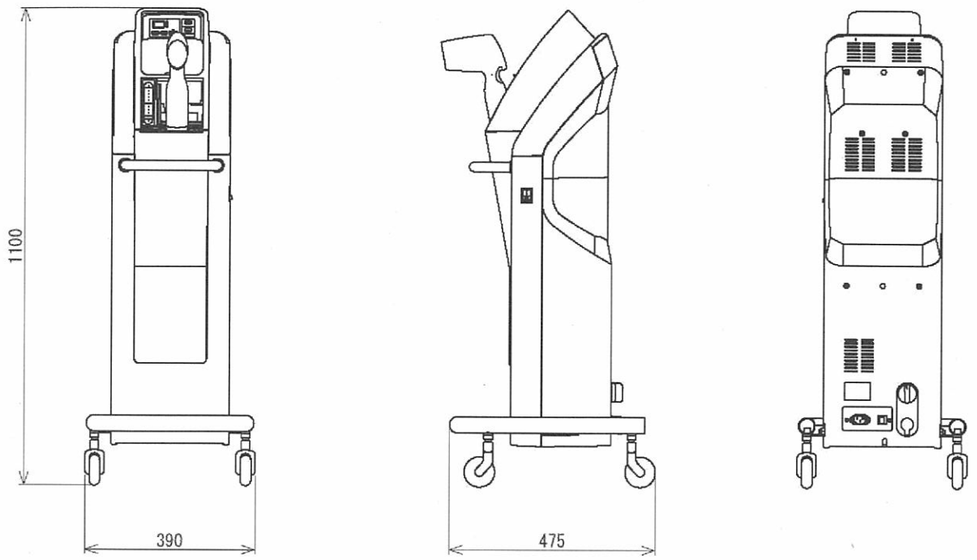
③日本国外での使用による故障又は損傷は、保証及びアフターサービスの対象外とさせていただきますのでご了承ください。

④この製品のサービスパーツ（消耗品・補修用性能部品）の保有期間は、製造終了後５年とさせていただきます。

定格・仕様

電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	780W
給水容量	約2リットル
使用水	専用水［アクア キューブ（容量20ℓ） アクア キューブ ミニ（容量5ℓ）］
外形寸法	幅390mm×奥行475mm×高さ1100mm
重量	16kg（本体のみ）
標準水温	20℃～25℃
使用温度	10℃～35℃
保管温度	0℃～45℃
安全機能	①サーキット プロテクター ②バブル センサー ③傾斜センサー ④温度ヒューズ ⑤異常温度検知センサー

外形図



MEMO